

第41回世界獣医師会大会2026(東京大会)への参加をお薦めする10の理由



世界獣医師会の東京大会が2026年の4月に有楽町の東京国際フォーラムで開催されることになり，日本獣医師会では現在その準備を進めています．本誌を読んでいる皆さまにはぜひ現地に足を運んでいただきたく，世界獣医師会大会2026（東京大会）への参加を薦める理由を以下の10項目にまとめてみました．

1 31年ぶりの日本国内での開催です

世界獣医師会大会は世界のいずれかの都市で年に1回開催されています．2024年は南アフリカのケープタウン，2025年は米国のワシントンD.C.，そして2026年は東京での開催となります．日本で前回開催されたのは1995年（横浜大会）でして，この記事を読んでいる方の中には会場に行ったという方，当時はまだ生まれていなかったという方などさまざまな方がいらっしゃるのではないのでしょうか．

今回の東京大会は実に31年ぶりの日本での開催となります．この東京大会の次の日本での開催が同じくらいの間隔（約30年後）になると仮定しますと，この春に大学を卒業される若手獣医師の方でも次回には50代半ばとなり指導的な立場，管理職等の熟練者になっているかもしれません．世界獣医師会大会が日本で開催されるのは数少ない，きわめて貴重な機会といえます．

2 ワンヘルスの最前線に触れられます

今回の大会のテーマは「ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来」です．動物，人，そして環境の健全性を一つのものと捉えるワンヘルスアプローチに基づく世界の取組の最先端に触れることができるよう，世界獣医師会ともしっかり連携しながら内容の検討を進めてまいります．ここで得られ

る知識や考え方は皆さまの業務のみならず，日々の暮らしや地球の将来を考えるきっかけとしても大いに役立つものになるはずです．

3 世界中の獣医師とのネットワーキングが可能です

世界獣医師会は世界の101団体，90万人以上が構成員（オブザーバーを含む）となっており，この東京大会には世界中から多くの獣医師を始めとした専門家が参加することになります．海外からの参加者数はおよそ1,000人と見込んでおり，獣医学関連のイベントとしては他に例のない規模になると思われます．国内に居ながらにして世界中のさまざまな分野の獣医師らと交流することができる貴重な機会です．

4 小動物，大動物，人の医療や環境，教育など幅広いテーマをカバーします

本大会は獣医学の特定の分野に限ったものではなく，獣医学のすべての分野が対象となります．更に，テーマがワンヘルスであることからもお分かりいただけるとおり，人の医療や環境問題をも包含し，ペットとの共生の価値や，災害への対応や復興，教育など幅広い事案を分野横断的に扱う予定です．こうした議論に触れることはきっと専門家である皆さまの視野を更に広げ，新たな知見

や発見・気づきを得ることに役立つものと考えています。

■ ■ 5 世界の幅広い専門家の話を直接聞くチャンスです

どのような分野のどの先生にご登壇いただくのかはこれからプログラム委員会の委員の皆さまにご議論のうえ決めていただくことになりますが、世界中から集まった専門家の話を直接聞き、質問し、理解を深めることができる場になることは間違いありません。こうした対面でのコミュニケーションは COVID-19 の流行によりオンライン会議が一般的になった昨今、より知的好奇心をかきたて、全身で実感できる場として意義が高まっていると言えるのではないのでしょうか。

■ ■ 6 多くの分野・業界の連携やビジネスチャンスの場にも

本大会では東京国際フォーラムのイベントスペース全体を借り切って、多くの企業や関係者の皆さまにブースを出していただくためのスペースに当てています。そこには動物や人の健康、そして環境に関連した各社が現在力を入れているさまざまな製品や各種のサービス、取組等が並ぶことになるでしょう。参加者の皆さまにとって世界のさまざまな技術や知見に触れられる機会になるのみならず、日本の企業や関係者の皆さまにとってはその取組を世界に向けて発信する場にもなることを期待しています。

■ ■ 7 学生の皆さまへの支援を充実します

ワンヘルスは地球の将来を大切に考えるアプローチであり、これからを支えていく若者にこそしっかりと考えてもらいたい取組です。学生の皆さまには特別な参加費を設定するなどし、ひとりでも多くの方が会場に来ていただけるように取り組む予定です。また、学生スタッフの皆さまの力を借りることで、運営側にも学生の皆さまにとってもメリットのあるものにするのを計画しています。

さらに、アジアの若手獣医師を対象として日本獣医師会が長年続けている研修事業の卒業生を対象としたイベントも本大会にあわせて開催することを予定しており、国内外から次世代を担う若者が集う場にしたいと考えています。

■ ■ 8 関係閣僚など多くの VIP にもお声かけする予定です

1995 年に開催された世界獣医師会大会の横浜大会では、農林水産大臣、厚生労働大臣、神奈川県知事や横浜市長といった VIP の皆さまに来賓として開会式にご出席いただき、また、天皇皇后両陛下のご臨席とお言葉を賜る栄にも浴しています。今回の東京大会についてはすべてこれからのご相談となりますが、こうした数多くの VIP の皆さまにお会いでき、同じ空気を共有できるかもしれないという点も、世界獣医師会大会ならではのことで。

■ ■ 9 会場は東京国際フォーラム、春の東京もあわせて楽しめます

今回の世界獣医師会大会 2026（東京大会）の会場は有楽町の東京国際フォーラムです。JR 有楽町駅はもちろん、東京駅からも歩くことができる距離です。残念ながら桜の時期には少し遅い、4 月 21 日から 24 日が開催期間なのですが、4 月下旬の東京の平均最高気温は 20～23℃、最低気温は 12～15℃と、気候としては 1 年で一番穏やかで過ごしやすい時期となります。東京駅や皇居といった観光スポットからも近く、春の東京もあわせてお楽しみいただけること請け合いです。

■ ■ 10 藏内会長が世界獣医師会の会長に就任する大会です

最後になりますが、日本獣医師会の藏内勇夫会長は現在、世界獣医師会の次期会長を務めておりまして、社会における獣医師のステータスを高めていくことを使命として活動しています。この 2026 年の東京大会にあわせて開催される世界獣医師会総会から正式に世界獣医師会の会長に就任

することとなるのですが、日本人が世界獣医師会の会長になるのは初のことであり、しかもその就任に係る大会が日本で開催されることはおそらく今後ないことでしょう。まさに歴史的な瞬間であり、ぜひ皆さまにはその目撃者になっていただきたいと考えています。

いかがでしょう？ 2026年4月に東京で開催される世界獣医師会大会に参加したい気持ちになっていただけましたでしょうか。まだまだという方も多くいらっしゃると思いますので、皆さまからのご意見やご協力をいただきながら引き続き魅力的な大会づくりを進めつつ、随時、情報の発信にも努めます。本大会は皆さまのお力なしには作り上げられないものと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。